

地域計画

策定年月日	令和 7 年 3 月 2 8 日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	相 生 市 (28208)
地域名 (地域内農業集落名)	矢野地区 (下 田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	18.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	18.0 ha
② 田の面積	18.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	2.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	14.3 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	6.8 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	6.6 ha
(備考)	
⑤は相生市内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・下田地区は、従来から大規模農家が多く、多くの地区内農地保有者から委託を受け耕作、他は数件の高齢農家が守っているが、大規模農家にとって効率の悪い田も多く、集約にあたって委託希望者との乖離が大きな課題である。

・耕作者が主体となって行っている水路、農道、畦畔等の管理は、大きな負担となっており、農地を維持していくためには、地域全体として農地を守っていくための協力体制・組織をどう構築するかが大きな課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・担い手である、大規模農家と自作希望の小規模な特色ある農家との組合わせで地域農業を維持して行く。

・地形的に獣害の影響を受けやすく、作物だけでなく農用地・法面・水路も被害を受けることも多いため、地域全体で農用地の維持管理できる組織強化を図る。

・作物については、直売所も近い利点を活かし、消費者のニーズを市とも連携・把握のうえ、小規模農家でも可能な作物耕作を目指す。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針				
担い手への農地の集積・集約化を図り、農用地の保安全管理を進める。また、自作意向のある農家については、地域維持及び健康維持の観点からも担い手と協議をしつつ農地利用を進める。				
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標				
現状の集積率	59.4	%	将来の目標とする集積率	79.4 %

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

- ・大規模農家の担い手へ委託している下田農地の団地数及び面積は、3団地、57筆 10.3ha(令和5年時点)
- ・将来は、小規模自立農家との棲み分けを考慮しながら、大規模農家への集約を進める。
- ・令和11年度目標:3団地、84筆 15.1ha
- ・中山間部においては、溜め池に頼らざるを得ないため、取水管理が難しく、大規模農家にとっては、扱いにくいブロックである。そのため水稻以外の多面的な耕作物も検討してゆく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

中心となる担い手への集積は多いものの、さらに担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地バンクを通じて進める。

(2)農地中間管理機構の活用方法

- 農地の集約化(農地バンク活用)を促進するため機構また業務の一部を委託されている市と連携しながら、
- ①集落内の農地貸し手(将来の貸し手含め)に対して、機構の事業概要の理解活動(農地集積の主旨)を継続して進める。
 - ②集落内で担い手の継続的な確保に向け、担い手との円滑な関係構築、また後継者確保活動と併せ、地域計画に沿った集約化(農地バンク活用)を担い手の理解を得ながら進める。

(3)基盤整備事業への取組

基盤整備事業を実施してかなりの年数を経過し、水路・農道の経年劣化が心配される。今後、集落で事業への取り組みについて協議を進めていく。水利施設等については、受益者等と連携し、適期に補修・更新対策を行うなど計画的な更新及び維持管理に努める。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

今後、区域内で就農の意向のある者がある場合は、担い手と協議しつつ、市、県及び●●と連携し、相談から定着まで切れ目なく取組んでいく。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

作業の効率化が期待できる防除作業は、委託による実施を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④輸出	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携	☐	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①山際に獣害防護柵はあるものの、公道や河川を経由しての侵入が見受けられる場合には、新たに団地囲みの防護柵の設置等を行う。また、地域による防護柵の点検箇所の周知活動に取り組む。
- ②収益性の向上を図るためにも減農薬、減化学肥料栽培に努める。
- ③作業の省力化、効率化に向けて、スマート農機の導入について検討する。
- ⑦担い手及び地区住民が連携協力し、地域ぐるみの農道・用排水路等の維持管理を行い、定期的な保全活動を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻・大豆・麦	10.35 ha	ha	水稻・大豆・麦	13.95 ha	ha	A	
認農		水稻	0.35 ha	ha	水稻	0.35 ha	ha	C	
利用者	別紙のとおり	水稻・野菜	1.13 ha	ha	水稻・野菜	1.13 ha	ha	P	
利用者	別紙のとおり	水稻・野菜	6.17 ha	ha	今後検討	2.57 ha	ha	Q	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		18.00 ha	0 ha		18.00 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
		水稻育苗、農薬散布、乾燥調整	水稻、麦、大豆
		直播、除草剤、追肥、防除	水稻、麦、大豆

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者		水稻・野菜	0.1 ha	ha	水稻・野菜	0.1 ha	ha	P	
2	利用者		水稻・野菜	0.1 ha	ha	水稻・野菜	0.1 ha	ha	P	
3	利用者		水稻・野菜	0.24 ha	ha	水稻・野菜	0.24 ha	ha	P	
4	利用者		水稻・野菜	0.64 ha	ha	水稻・野菜	0.64 ha	ha	P	
5	利用者		水稻・野菜	0.05 ha	ha	水稻・野菜	0.05 ha	ha	P	
6	利用者		水稻・野菜	0.3 ha	ha	水稻・野菜	0 ha	ha	A	
7	利用者		水稻・野菜	0.1 ha	ha	水稻・野菜	0 ha	ha	A	
8	利用者		水稻・野菜	1.3 ha	ha	水稻・野菜	0 ha	ha	A	
9	利用者		水稻・野菜	0.24 ha	ha	水稻・野菜	0 ha	ha	A	
10	利用者		水稻・野菜	0.28 ha	ha	水稻・野菜	0 ha	ha	A	
11	利用者		水稻・野菜	0.56 ha	ha	水稻・野菜	0 ha	ha	A	
12	利用者		水稻・野菜	0.66 ha	ha	水稻・野菜	0 ha	ha	A	
13	利用者		水稻・野菜	0.16 ha	ha	水稻・野菜	0 ha	ha	A	
14	利用者		水稻・野菜	0.11 ha	ha	今後検討	0.11 ha	ha	Q	
15	利用者		水稻・野菜	0.3 ha	ha	今後検討	0.3 ha	ha	Q	
16	利用者		水稻・野菜	0.13 ha	ha	今後検討	0.13 ha	ha	Q	
17	利用者		水稻・野菜	0.39 ha	ha	今後検討	0.39 ha	ha	Q	
18	利用者		水稻・野菜	0.4 ha	ha	今後検討	0.4 ha	ha	Q	
19	利用者		水稻・野菜	0.6 ha	ha	今後検討	0.6 ha	ha	Q	
20	利用者		水稻・野菜	0.3 ha	ha	今後検討	0.3 ha	ha	Q	
21	利用者		水稻・野菜	0.14 ha	ha	今後検討	0.14 ha	ha	Q	
22	利用者		水稻・野菜	0.1 ha	ha	今後検討	0.1 ha	ha	Q	
23	利用者		水稻・野菜	0.1 ha	ha	今後検討	0.1 ha	ha	Q	
24				ha	ha		ha	ha		
25				ha	ha		ha	ha		
26				ha	ha		ha	ha		
27				ha	ha		ha	ha		
28				ha	ha		ha	ha		
29				ha	ha		ha	ha		
30				ha	ha		ha	ha		
31				ha	ha		ha	ha		
32				ha	ha		ha	ha		
33				ha	ha		ha	ha		
34				ha	ha		ha	ha		
35				ha	ha		ha	ha		
36				ha	ha		ha	ha		
37				ha	ha		ha	ha		
38				ha	ha		ha	ha		
39				ha	ha		ha	ha		
40				ha	ha		ha	ha		
41				ha	ha		ha	ha		
42				ha	ha		ha	ha		
43				ha	ha		ha	ha		
44				ha	ha		ha	ha		
45		計		7.3 ha	ha		3.7 ha	ha		